

平成23年10月13日 『県政タウンミーティング』 主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	所管課
参加者発言内容	知事等発言内容	概要	部・課名
【これからの商店街の課題について】			
<p>○個性的な店作り、空き店舗の活用、商店街を牽引する人材の育成等の取組が必要だが、それだけでなく商店街の中に人が集う仕組みを作る必要がある。</p> <p>○人が集える場所をどう作るかが課題、まちづくりがあって商店街があると、商店街が公共的役割を果たすことができる。</p> <p>○商店街側がコミュニケーション能力を高めて、お客様との距離を縮めて行くこと、地域のニーズを的確に把握して対応していくことが必要で、お客様の生活の質を高めるため生活にとけ込むサービスをする必要がある。</p>	<p><知事></p> <p>○まず、商店の皆さんの個々の魅力づくりは必要だと思う。その上で、これからの商店街に何が必要かについて、多くのの方が地域の課題に対応できることと答えたことを受け止め、商店街と県とが対等な協力関係でコラボレーションして行くことが可能だと感じた。何が地域の皆さんのニーズに応える道なのかを提案していただきたい。</p> <p><経営支援課長></p> <p>○空き店舗については、オーナーの約半数が利用するつもりがないという最新の調査結果があり、これをどのように捉えて打開策を考えればよいか、逆に意見を伺いたい。</p>	<p>○中心市街地に賑わいを取り戻すため、地域の人々が一丸となって取り組む自発的な事業を支援する「中心市街地再生支援事業」を実施しています。また、「高齢買物弱者支援モデル事業」により、地域商店街等における高齢者を顧客とする新たなビジネスモデルを創出するための実証を行っています。こうした事業を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めてまいります。</p>	<p>商工労働部 経営支援課</p>